車両諸元一覧表作成説明資料 ~わかりやすいオンライン申請マニュアル 別冊1~

平成29年3月 国土交通省 道路局 公益社団法人 全日本トラック協会







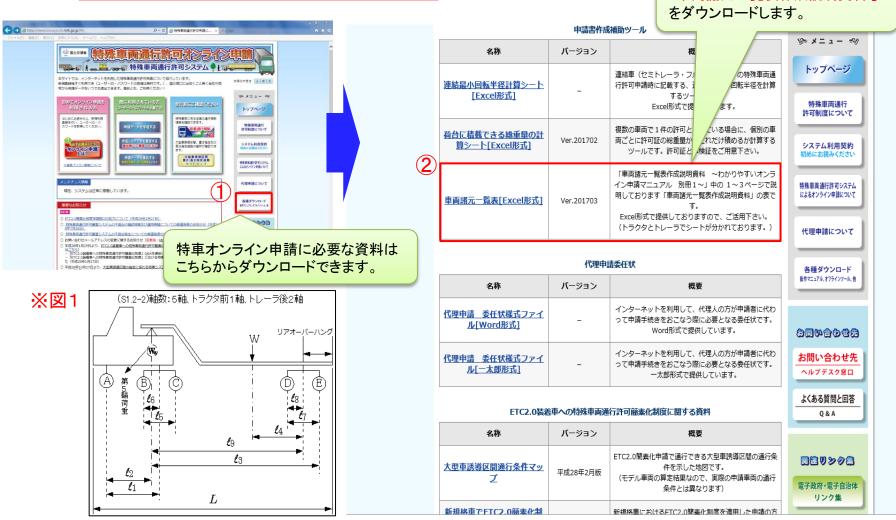




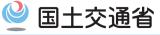
「車両諸元一覧表作成説明資料」

- ●特車オンライン申請を始める前に、「車両諸元一覧表」へ申請時の値を事前に用意しておくことで、申請書作成が円滑に行えます。
 - ※ 当資料では、「軸数5軸・トラクタ前1軸・トレーラ後2軸(図1)」の車両で、

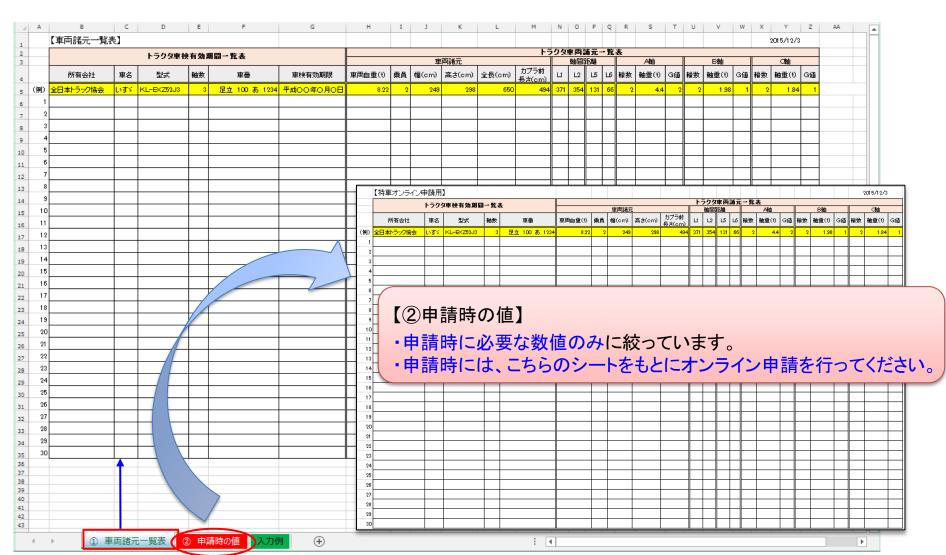




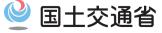
車両諸元一覧表の作成について(トラクタ)



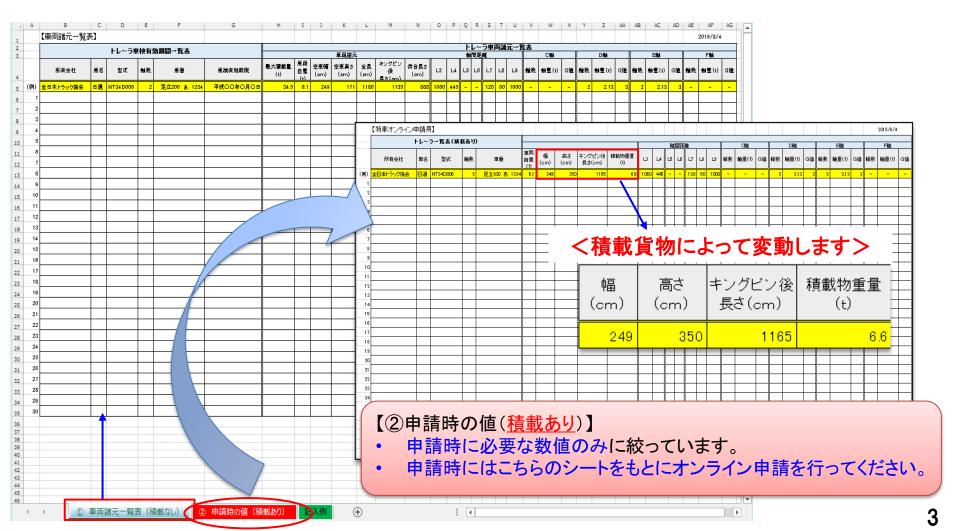
● 車検証および外観図等を参照しながら、トラクタの申請時の値を"車両諸元一覧表" へ入力します。



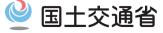
車両諸元一覧表の作成について(トレーラ)



- 車検証および外観図等を参照しながら、トレーラの申請時の値を"車両諸元一覧表" へ入力します。
- ※トレーラの申請時の値は「貨物を積んだ状態での値」になります。<u>そのため、"幅(cm)"</u> "高さ(cm)" "キングピン後長さ(cm)" "積載物重量(t)" は積載貨物によって変動します。



特殊な車両とは?



1.特殊な車両

• 特殊車両通行許可の対象となる車両で、道路法47条の2に規定する"車両の構造が特殊である車両"、"積載する貨物が特殊な車両" とは、車両制限令に規定する車両諸元の最高限度を超える次のような場合をいいます。

2.車両の構造が特殊

車両の構造が分割不可能なため、寸法(幅、高さ又は長さ)・重量において一般的制限値のいずれかを超える車両をいいます。大きく分類すると以下の二つに分けられます。

① セミトレーラ連結車

・トラクタ(けん引車)にセミトレーラ(被けん引車。積載物の重量 の相当部分を、連結装置を介してけん引車に持たせかける構造 のトレーラ)を連結した車両。

例 バン型セミトレーラ



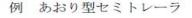
例 タンク型セミトレーラ



例 幌枠型セミトレーラ



例 コンテナ用セミトレーラ

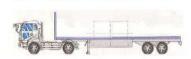




例 スタンション型セミトレーラ



例 船底型セミトレーラ



例 自動車運搬用セミトレーラ



② 単車・建設機械等

- 連結状態になく、通常単体で運行される車両。
- 車両の構造上分割不可能であり、取り外し可能なものは取り 外した状態で自走する車両。

例 バン型単車



例 トラッククレーン



※フルトレーラも車両の構造 が特殊な車両として取り扱わ れます。



申請車種の区分例



▶ 各車種について、車検証だけでは判断できない場合があります。

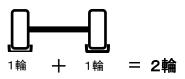
申請車種のプルダウンメニューに該当する車種例は、以下のとおりです。



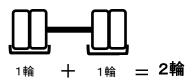


● 輪数の考え方

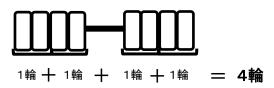
① シングルタイヤ



② ダブルタイヤ



③ ダブルタイヤ(両サイド)



● G値の考え方

- 各軸の車輪と車輪の中心間距離(最外輪中心間距離) のことをいいます。
- 以下のGコード表を参考に、「コード1~5」まで当てはまる コードを入力ください。

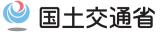
最外輪中心間距離(Gコード)	コード
200 c m以下	1
201 c m∼225 c m	2
226 c m∼250 c m	3
251 c m∼275 c m	4
276 c m∼300 c m	5

※ 参考

幅250cmのトラックであれば、以下が目安となります。

- ① シングルタイヤ・・・Gコード「2」
- ② ダブルタイヤ・・・Gコード「1」

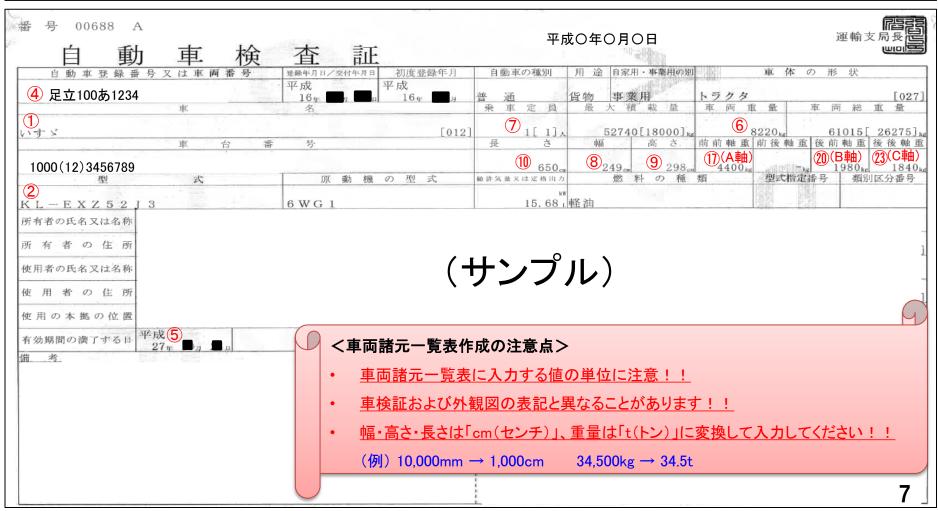
トラクタの申請値の探し方(車検証)



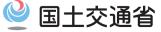
● 当資料では3軸トラクタをサンプルに作成しています。他軸の場合も考え方は一緒です。

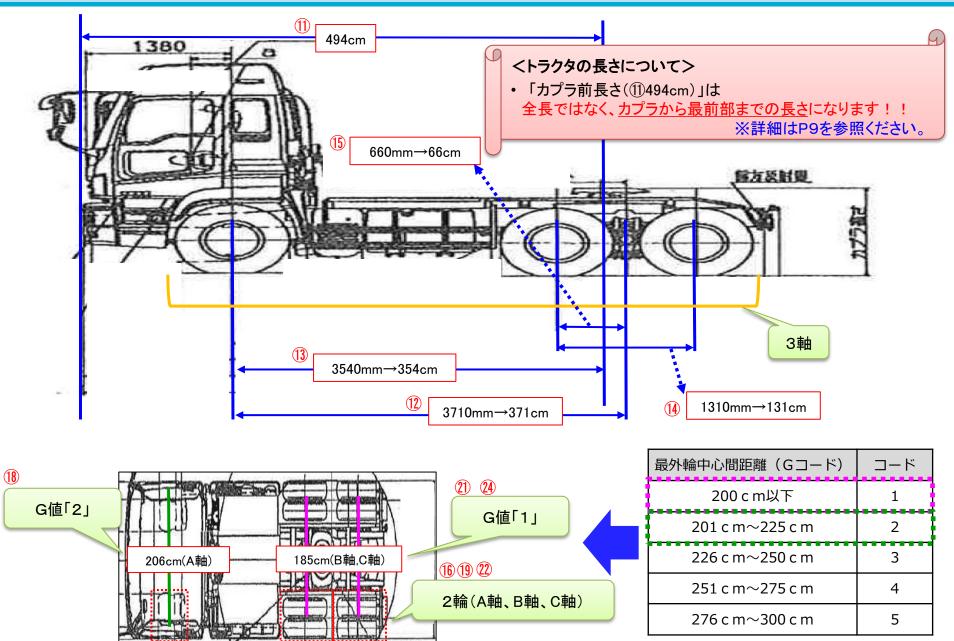
車両諸元一覧表(トラクタ)

トラクタ車検有効期間一覧表							トラクタ車両諸元一覧表																	
「アクタギは有効抑制」及数						車手							神聖語雄			A A A A			Bee					
所有会社	車名	② 型式 (3)	4) 車番	(5) 車換有効期限	6) 車両自重(t)	乗員	個(cm)	9) 高さ(cm)	全長(cm)	カプラ前 長さ(cm)	(IZ)	(13)	(14)	12)	b (17) 謝 軸重(t	(18) G値	輸数	軸重(t)	(<u>21)</u> G値	(22) 輪數	(Z3) 軸重(t)	(24) G値	
全日本トラック協会	いすな	KL-EXZ52J3	3	足立 100 あ 1234	平成〇〇年〇月〇日	8.22	2	249	298	650	494	371	354	131	66	2 4	4 2	2	1.98	- 1	2	1.84	1	

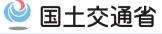


トラクタの申請値の探し方(外観図)

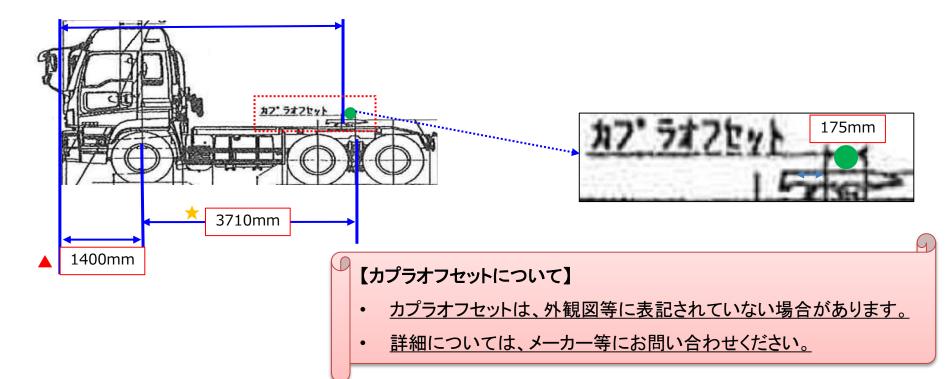




カプラ~最前部までの長さの求め方



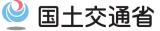
■ オンライン申請時のトラクタの値(幅、高さ)は、基本的には車検証通りですが、 "長さ"だけは「全長ではなく荷重中心から最前部(カプラ~最前部)」の長さになります。



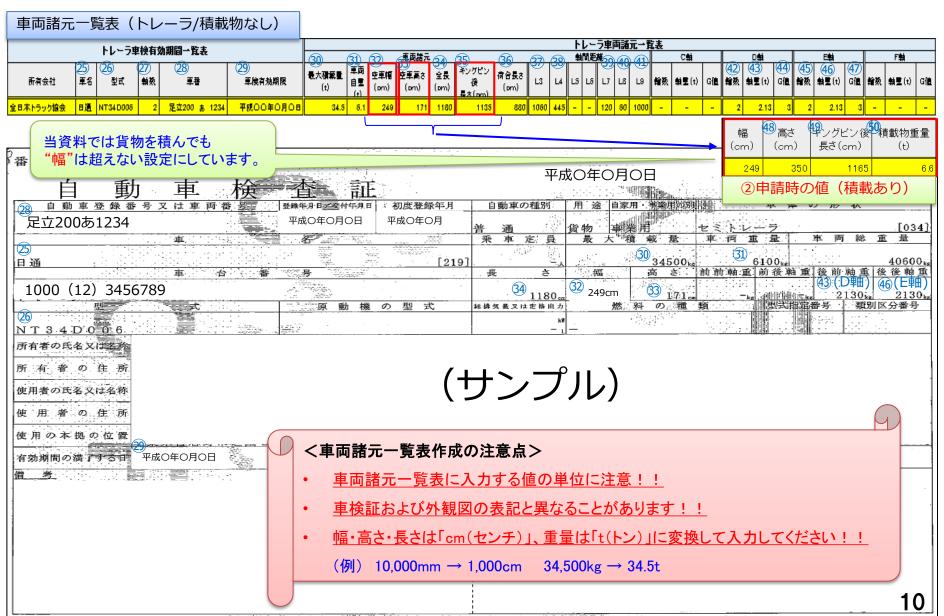
<トラクタの長さの求め方>

- ① (★+▲)ー●=カプラ~最前部の長さ(cm)
- ② (3710+1400)-175=4935mm → 493.5cm → **494cm(申請時の長さ)**
- ※ 小数点の切り上げ方は提出窓口によって異なります。詳しくは提出予定窓口にお問い合わせください。
- ※ 当資料では、「mm→cm」の場合小数点第一位を四捨五入しています。

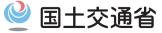
トレーラの申請値の探し方(車検証)

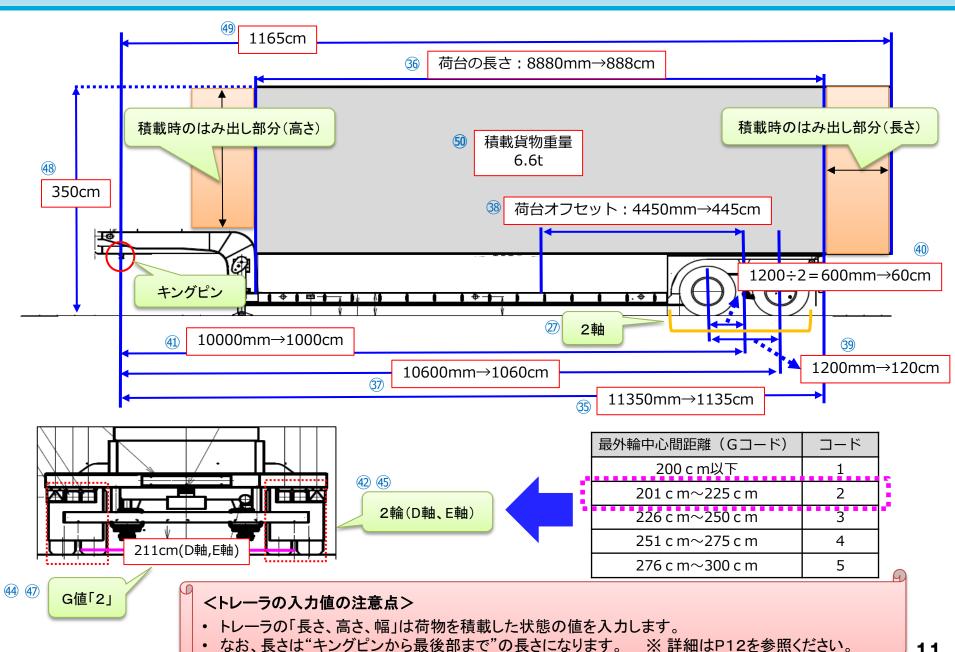


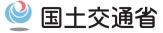
● 当資料では2軸トレーラをサンプルに作成しています。他軸の場合も考え方は一緒です。



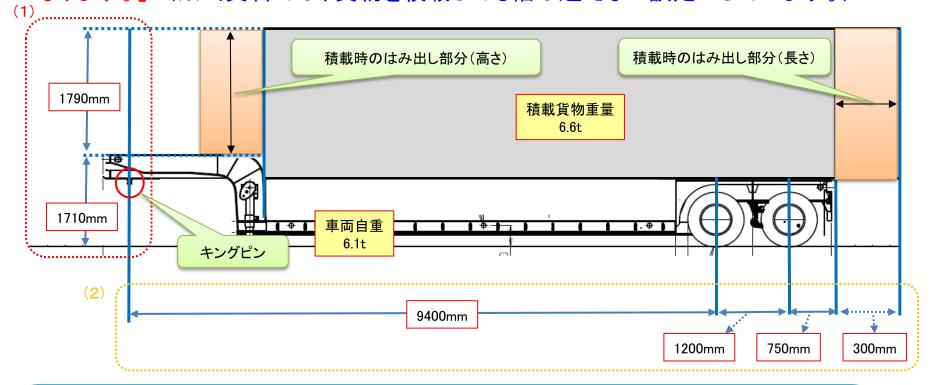
トレーラの申請値の探し方(外観図)







● トレーラの入力値は車検証通りではなく、「積載物をのせた状態の値(長さ、高さ、幅)になります。」(※当資料では、貨物を積載しても幅は超えない設定にしています。)



- (1) トレーラの高さの求め方1710(全高)+1790(積載貨物オーバー分)=3500mm → 350cm(申請時の高さ)
- (2) <u>トレーラの長さの求め方</u> 9400+1200+750(キングピン~最後部の長さ)+300 (積載貨物オーバー分)=11650mm → <u>1165cm(申請時の長さ)</u>
- (3) <u>トレーラの重さの求め方</u> 車両自重:6.1t(車検証通り) / 積載貨物重量:6.6t(積載する貨物によって異なります)
- (4) トレーラの幅の求め方249(空車時の幅)+○○○(積載貨物オーバー分)=○○○cm(申請時の幅)